

岩手県障がい者スポーツ大会開催基本方針

雄大な岩手山のもと、岩手県民一体となり、スポーツを通じての交流と相互理解を深め、「岩手」の障がい者福祉の向上と障がいの有無に関わらず、すべての人にとって住みよい地域づくりを目指し、次の2つを基本方針とします。

①障がい者スポーツの祭典として

自己に挑戦する選手と感動を分かち合い、すべての参加者が自分の可能性に挑戦する大会

②障がい者による社会参加活動の祭典として

県内の福祉事業所による販売活動を通し、スポーツのみならず障がい者の社会参加活動の成果を一般県民にアピールする大会

岩手県障がい者スポーツ大会シンボルマークについて

第6回大会においてプログラム表紙をデザインしていただいた山田町の内館正道さんも東日本大震災により犠牲になった一人です。内館さんはこれまでに絵本やイラスト、絵葉書など数々の夢のある温かいメッセージが込められた作品を制作してきました。

内館さんへの哀悼の意を含め、以下のデザインを震災復興の象徴とし、本大会のシンボルマークとすることにいたしました。



本人によるデザイン画の説明

◇少年の背後にある星は、スポーツを通じて自分なりの一番星を見付ける事、未来への希望を表現しています。

◇少年の胸のゼッケンは人間の無限の可能性を表現しています。

◇少年のまわりにある“花”のようなものは人間の手と人間そのものを表し、競技に対する「拍手」と「人と人とのつながり」を表現しています。

岩手県障がい者スポーツ大会・入賞メダル&参加賞について

表面

裏面



入賞メダルについて

このメダルは、釜石圏域の特定非営利活動法人かだっぺしと社会福祉法人わらび会わらび学園の2事業所が協力して製作しました。材料には、釜石産の杉を使用し、カッティング、ヤスリがけ、レーザー彫込み、塗装、リボン付け等の作業を分担し、丁寧に仕上げました。裏面には点字も彫込みしております。木のぬくもりと手作りの良さを味わっていただきたいと思います。

第20回岩手県障がい者スポーツ大会 参加記念



～ Possibility is endless ～
2018.6.2

参加賞（記念タオル）について

「Possibility is endless」とは「可能性は無限大」の意味で本大会のテーマを表示しました。また、印刷作業は県内の福祉事業所にて分担して行いました（以下、参照）。

参加賞製作事業所（以下、6事業所）

けやき学園（紫波町）、白梅の園（奥州市）、慈愛福祉学園（大船渡市）、石上の園（遠野市）
SELP わかたけ（宮古市）、松柏園（久慈市）